

東北地区

8地区ジョイントフォーラム

12月1日は世界エイズデーということで、(社)日本臨床衛生検査技師会が全国8地区26ヶ所で、12月1日と2日の両日、一般住民に対してHIV/AIDSへの関心のより一層の浸透を図るための啓発活動を行って行きました。

東北地区としては、仙台市と新潟市がその26ヶ所の中に数えられることになったため、宮城県技師会では仙台市内の会員に対して、新潟県技師会でも新潟支部を中心に動員要請を行った結果、宮城県12名、新潟県20名の会員から協力が得られ、カットパンやチラシなどの啓発物品の配布と、世界エイズデーの啓発を行いました。



仙台会場は天候も比較的穏やかで、宮城県・仙台市の職員の方、ボランティアの方々など総勢30名余りでの啓発活動となりました。また、12月1日は東北放送のテレビ取材もあり、宮城県民・仙台市民へのエイズ予防を、より強くアピールすることが出来たと思います。従来から宮城県技師会では、宮城県、仙台市などと同様の活動を展開して来ているため、行政に対して技師会の公益活動をアピールする、恰好の機会となっていると感じました。なお同期間、宮城県技師会では、HIVの迅速検査も県内5保健所で行っています。

一方、その日の新潟は、冬の小雨がパラついていたため往来する人々の手荷物が多く、寒いということもあって、なかなか受け取っていただけの方も少なかったのですが、協力



いただいた会員の頑張りもあって、どうにか無事配り終えることが出来ました。街頭での啓発活動

の経験が初めてということで、最初は抵抗感もありましたが、ビラ配りをする側の立場がよく理解できましたし、貴重な体験となりました。

日本ではいまだに増え続けているHIV/AIDSに対し、これらの行動によって、少しでも宮城県民や新潟県民の方々に、関心を持ってもらえたのではないかと自負しています。また、ご協力いただいた会員の皆さん、本当にご苦労様でした。【小野 静】

地区開催報告

近畿地区

8地区ジョイントフォーラム参加奮闘記

12月1日の世界エイズデーから7日までの期間、全国8地区でエイズ撲滅キャンペーンが開催されました。近畿地区では、12月2日に大阪市の梅田と道頓堀を中心にキャンペーンを実施しました。

当日はまず大臨技事務所に全員集合し、配布物と配布場所の確認、どのように配ればエイズ撲滅と臨床検査技師の役割をアピールできるかの作戦会議を行ってから、いざ出発となりました。エイズ撲滅キャンペーン隊第1班は道頓堀近くの御堂筋で、第2班は梅田の阪急百貨店、阪神百貨店周辺で、行き交う人達にエイズ撲滅キャンペーンリーフレットやエイズ撲滅冊子等配布しました。当日は晴天で日曜日と言う事もあり沢山の人が行きかう中、各々の配布物を一つにまとめ「エイズを理解しましょう!」「エイズ検査について書いています、見てください!」と声を掛けながら行きかう人達に手渡しで配りました。配布当初は、声



も行動も消極的で遠慮がちに配布していましたが、時間が経つにしたがい、人波に漂うように自然と配布ペースも上がり、短時間で配布物をすべて配布できました。一番喜ばれたのは日臨技作成のバンドエイドだったりして……。

通行人の皆さんの反応は、6割「受け取り拒否」、2割「無反応で受け取る」、1割が「関係無いけどな~」、1割「気をつけよ!」等でした。また、男同士や女同士の方が受け取ってくれた様に思います。男女(デートや買い物)では殆ど受け取っていただけませんでした。(エイズそれってどういう事……の様な雰囲気でした。)

不特定多数の人が行きかう路上で、「エイズ」という言葉は一般市民にとってはなかなか受け入れられていないような気がしました。まして臨床検査技師や臨床検査と言う言葉はより認知度が低いように感じました。うーん残念。キャンペーン放映は、師走の街にインパクトのあるフレーズで行き交う人達の視線を向けさせ、上々の成果であったと思います。

不特定多数・見知らぬ人に、路上で配布するという慣れない作業ではありましたが、寒風が吹き寒い日にもかかわらず、汗をかきながら配るといふなんとも云えない「熱さ」を感じエキサイティングな活動の一日でした。キャンペーン隊の皆様、お疲れ様でした。

【中山亮一】

子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥



**** 鼠 牛 虎 兎 竜 蛇 馬 羊 猿 鶏 犬 猪 ****

